



2018年8月期 中間

INTERIM BUSINESS REPORT

2017.9.1-2018.2.28

証券コード2157



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 コシダカホールディングス





代表取締役社長 腰高 博

成長投資を実行し、世の中にさらに「ワクワク」を増やす挑戦を続けてまいります

Q.1 当上期の業績はいかがでしたか？

当上期の連結業績は、引き続き増収増益基調を確保しております。「カラオケ事業」と「カーブス事業」がともに高い売上成長を持続することができました。

下期以降も堅調な推移を見込んでおり、上場以来、11期連続の増収増益の達成を目指してまいります。

[→ 詳細な数値は右ページをご覧ください](#)

Q.2 「カラオケ事業」の成長戦略を教えてください

まず、国内市場における出店戦略では現在、1都3県（東京・神奈川・埼玉・千葉）への集中出店を基本に、“建築出店”による“都市型駅前・繁華街店舗”の積極的な出店を行い、高水準の売上・利益成長を果たしております。地方で培ってきたローコストオペレーション能力の高さは業界でも群を抜いており、同業他社に対する高いコスト競争力の源泉となっています。1都3県で最後発となる「カラオケまねきねこ」は、真新しい内装、最新の設備・機器、充実のサービスでありながら、リーズナブルな価格設定のお店といったイメージが定着しつつあります。

また、次の有力な出店候補として、“地方の中核都市の駅前”を想定しており、実現化を目指してまいります。

既存店については、引き続き様々な活性化策に注力しています。集客面では、高校生向けの「ZEROカラ」、シニア層向けの「朝うた」、ファミリー向けの「キッズルーム」、トレンドに対応したコンテンツホルダーとのコラボ企画など、全方位的に施策を折り重ねて展開しています。経費管理面では、前下期より「昨対主義」から「予算第一主義」に改めたことで、店舗の収益力改善が進んでいます。オペレーション面では現在、自動精算機や生ビールの自動サーバーを導入するなど、様々な「自動化」に取り組んでいます。こうした複合的な施策展開により、当社の既存店は、市場縮小が進む地方部においても、高い競争力と収益力を確保することが可能となっています。

Q.3 「カラオケ事業」の海外展開については、いかがですか？

海外については、ASEAN地域への全面展開を目指して、着々と準備を進めてまいりました。2018年11月には、シンガポール・韓国に次ぐ第3の国となるタイ（バンコク）への出店を予定しています。加えて、マレーシアにおいてはアライアンス先が確定し、

2018年中に合併会社を立ち上げる予定です。今後は、フィリピンやインドネシアへの進出に向け、調査・準備活動を進めてまいります。

Q.4 「カーブス事業」では、M&Aにより新たな事業展開の可能性が広がってきましたね

当社連結子会社である株式会社カーブスホールディングスは2018年3月、カーブス事業を担う世界総本部企業、Curves International Holdings, Inc.の全株式を取得し、同社は当社グループの傘下に入りました。これは、今後の事業展開において、非常に大きな分岐点となります。

まず、従来はグループ外に出ていた支払いロイヤルティ（年間20億円規模）を、今後はグループ内に取り込むことができます。次に、国内におけるカーブス事業の展開において、非常に自由度が高まります。今後は、自らの発想で新業態の開発を行うなど、

従来の枠を越えた挑戦を行ってまいります。さらに、中長期的な目線では、グローバル展開の可能性も見逃せない要素です。2007年に世界10,000店舗超まで拡大したカーブス店舗数は、今や4,000店舗程度まで減少しています。一方、国内では着実な拡大を続け、今や2,000店舗に迫る勢いです。世界の店舗数の半数近くを占めるほどに成長したノウハウを活かして、海外市場の立て直しを図りたいと考えています。そのための市場調査や戦略立案を、およそ1年間で実施してまいります。

Q.5 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします

多くのステークホルダーのご支援により、昨年、当社は創業50周年を迎えることができました。個人経営の小さな飲食店から始まり、カラオケ店の経営、そしてカーブス事業や温浴施設の展開へと、成長を果たしてきました。

コシダカグループは、次の50年に向け、これからも“新たな

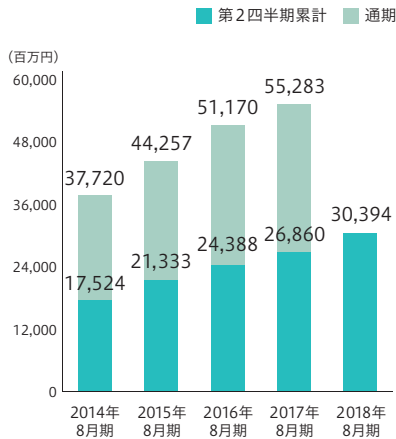
サービス”の開発に挑戦し続け、世の中に「ワクワク」を増やしていきたいと考えています。

株主の皆様には、引き続きご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

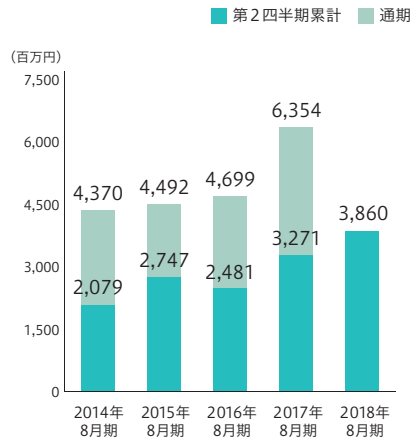
[→ 創業50周年について特集記事を掲載しています。あわせてご覧ください](#)

数字で見るコシダカ

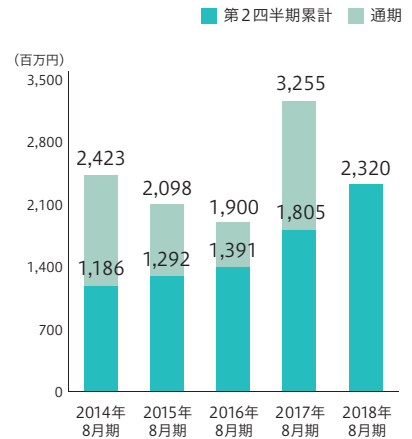
売上高



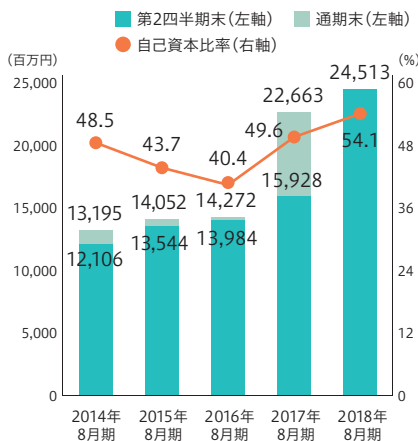
経常利益



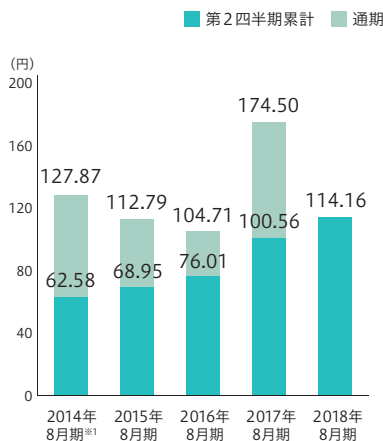
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



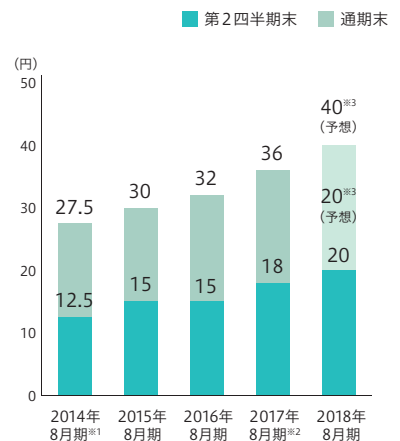
純資産/自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり配当金



※1 2014年9月1日付で1:2の株式分割を行いました。2014年8月期は当該株式分割を加味し、1株当たり四半期(当期)純利益額および1株当たり配当金を算出しております。
 ※2 東京証券取引所市場第一部への市場変更を記念し、2017年8月期第2四半期末配当金において1株当たり2円、期末配当金において1株当たり2円の記念配当を実施しました。
 ※3 2018年6月1日を効力発生日として1:4の割合で株式分割を実施する予定ですが、2018年8月期の期末配当および通期配当予想額については、株式分割前の金額を記載しております。なお、株式分割後の期末配当予想額は5円となります。

事業セグメント別状況

(2017年9月1日~2018年2月28日)

カラオケ事業
第2四半期
連結累計期間実績

157億6百万円
売上高構成比 51.7%

首都圏を中心とした店舗網の充実を中心に積極的に取り組むとともに、他社にはない当社独自のサービスの充実にも注力しました。また特定の時間帯や顧客層に照準を当てた基本施策を継続する一方で、店舗環境に応じた料金施策を展開、ベースの顧客基盤をさらに確固たるものとするべく努めました。その結果、売上高は157億6百万円(前年同期比6.9%増)、セグメント利益は15億71百万円(同45.4%増)となりました。

不動産管理事業
第2四半期
連結累計期間実績

1億57百万円
売上高構成比 0.5%

売上高は1億57百万円(前年同期比1.7%増)、セグメント利益は63百万円(同7.5%増)となりました。

事業セグメント別売上高構成

売上高 303億94百万円

カーブス事業
第2四半期
連結累計期間実績

137億11百万円
売上高構成比 45.1%

運動習慣を多くの人達に身につけていただくことによる会員数の継続的拡大と、店舗網の充実をさらに進めました。また運動と相乗効果の高いプロテインの改善を行った結果、好評を博し売上拡大に貢献しました。その結果、売上高は137億11百万円(前年同期比22.5%増)、セグメント利益は24億31百万円(同2.6%増)となりました。

温浴事業
第2四半期
連結累計期間実績

8億19百万円
売上高構成比 2.7%

集客施策のブラッシュアップと新コンテンツの導入を図るとともに、継続的に設備の省エネ化をさらに推し進め、定期的に施設のリニューアルを施すことにより、温浴事業の質量両面にわたる経営改善に努めております。売上高は8億19百万円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益は45百万円(同41.4%減)となりました。







【特集】

創業50周年を迎えて

これまでの50年の歩みは、株主の皆様、お客様、従業員や関係者の皆様など、すべてのステークホルダーのご支援の賜物であると、心より感謝申し上げます。50周年を“新たな50年への通過点”と捉え、これからも「お客様に喜びを与えること」を極め、世界No.1の「総合余暇サービス提供企業」への成長を目指してまいります。



2018年社員総会時の集合写真

- ひとりカラオケ専門店「ワンカラ」

- すきっと

- ZEROカラ

- 朝うた


中華料理店「新盛軒」時代
腰高博（現・コシダカホールディングス代表取締役社長）の父が起業、チェーン展開により事業を拡大しました。



上州ラーメン赤城店

上州ラーメンの屋号にてチェーン展開

1967


中華料理店「新盛軒」▶

1993

カラオケまねきねこ1号店誕生

全てはお客様のために。まねきねこ1号店

カラオケ1号店の開設から3年後の1993年、2号店の開設に向け、覚えやすく縁起の良い名前を検討。思いついた名前が「まねきねこ」でした。その後躍進していく「カラオケ本舗まねきねこ」1号店の誕生です。



1号店の前橋小相木店

1990

カラオケ事業開始



カラオケボックス1号店
オイコットのロゴ

1997

居抜き出店開始

成長ドライバーとなった「居抜き出店」

斬新な店舗デザインや接客サービスの質の向上など、独自の店舗経営を次々と打ち出し、出店すれば利益を出す自信がありました。そこで初期投資をわずかで済ませることができる「居抜き出店」という手法を採用、ここから当社の出店スピードが加速していきました。



居抜き1号店となった伊勢崎店



Before
足利朝倉店



After
2010年4月28日オープン

カーブス事業を開始

2006年、カーブスの高い可能性を確認しFC事業に進出。そして2008年には、FC本部を運営する株式会社カーブスジャパンの株式を取得し子会社化。そこから現在まで躍進を続けています。

2016

東証一部へ市場変更

東証一部企業としての認識も新たに、「総合余暇サービス提供企業」として、さらなるイノベーションを追求してまいります。



東証一部へ市場変更

2011

ひとりカラオケ専門店「ワンカラ」スタート

海外店舗初出店



韓国コシダカ1号店(江南店)

革新志向で独創的なサービス・商品・業態を開発し続ける！

カラオケ事業は、開始から約30年の間に国内500店舗超まで増加しました。躍進の最大の理由は、革新志向で常に開発・提案し続ける姿勢です。たとえば、当社オリジナルカラオケ端末「すきっと」。“お一人様”文化を先取りした新業態ひとりカラオケ専門店「ワンカラ」。これらは従来の常識を打ち破り、業界に新機軸を打ち出しました。また、サービス面でも高校生対象の「ZEROカラ」やシニア層に向けた「朝うた」など新たな施策で来店促進へとつなげています。

2015

「ワンカラ」向けオンライン英会話スタート

2007

ジャスダック市場へ株式上場

ホールディングス化

誕生



2006

カーブス事業開始

社員独立第1号店誕生

2010

未曾有の災害、東日本大震災で再認識した使命

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、岩手・宮城・福島の店舗はもとより、北関東や首都圏の店舗にまで甚大な被害が及びました。しかし震災後すぐに「がんばろう!! 東日本復興へ全力」のスローガンのもと被災者支援や事業の早期再開を行ったことで、社員一人ひとりが自分たちの使命「お客様に喜びを与えること」を改めて見直す大きな転機となりました。



温浴事業 ▶

カーブス事業 ▶

温浴事業開始

温浴事業を開始

カラオケ事業で培った「居抜き出店」の手法を活かし温浴事業に進出、ローコストオペレーションのノウハウも駆使して黒字化を達成しました。



Curves
The power to amaze yourself®

インフォメーション

会社の概要 (2018年2月28日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
 設立年月日 1967年3月31日
 東京本社 東京都港区浜松町二丁目4-1
 世界貿易センタービルディング23階
 前橋本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
 資本金 20億7,025万7,500円
 事業内容 カラオケ事業(店舗数:国内506店舗、海外24店舗)
 カーブス事業(加盟店舗数:1,860店舗)
 温浴事業(店舗数:5店舗)
 従業員数 グループ従業員4,053名
 (正社員1,182名、パート・アルバイト2,871名)
 パート・アルバイトは1日8時間換算人数

役員 (2018年2月28日現在)

代表取締役社長 腰高 博 社外取締役(監査等委員) 西 智彦
 専務取締役 腰高 修 社外取締役(監査等委員) 寺石 雅英
 常務取締役 朝倉 一博 社外取締役(監査等委員) 森内 茂之
 常務取締役 腰高 美和子
 常務取締役 土井 義人

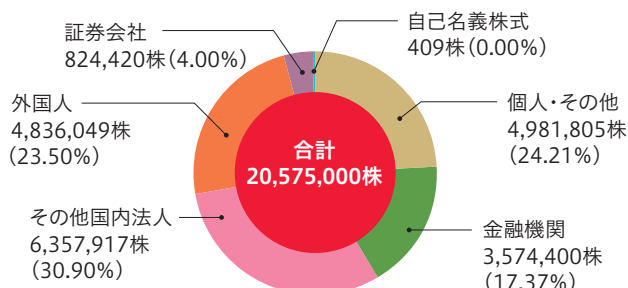
大株主 (上位5名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	5,332,000	25.91
腰高 博	2,310,000	11.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	870,700	4.23
株式会社アイエムオー	866,000	4.20
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシーリ フィデリティ ファンズ	606,800	2.94

株式の状況 (2018年2月28日現在)

発行可能株式総数 76,800,000株 株主数 6,659名
 発行済株式の総数 20,575,000株

所有者別株式分布状況 (2018年2月28日現在)



株主メモ (2018年2月28日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎年11月下旬
 基準日 毎年8月31日
 定時株主総会・期末配当 毎年8月31日
 中間配当 毎年2月末日
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
 住所変更のお申し出について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 「配当金計算書」について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。
 ※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

Follow me!

カラオケまねきねこの公式Instagramアカウント!
 @karaoke_manekineko_official

まねっきーの可愛い日常と、
 お得な新商品・サービスもご紹介!
 今すぐCHECK!

株主優待拡充についてのご案内

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、投資魅力を高め、当社株式をより中長期に保有していただくことを目的として、株主優待制度を拡充することにいたしました。現行の株主優待制度を維持した上で、3年以上継続して当社株式を所有している株主様に対して、右表の通り優待内容を拡充いたします。

変更の期間に関して
 2018年8月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より、新制度を適用させていただきます。なお、新制度における継続保有期間の判定については、2018年8月末日から過去に遡って実施いたします。

保有株式数(分割後)	継続保有期間 3年未満	継続保有期間 3年以上
対象となる株主様	2018年8月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上を保有されている方	毎年8月末日及び2月末日の株主名簿に「同一の株主番号」で連続して7回以上記載または記録されている方
100株~399株	2,000円相当の株主優待券*	4,000円相当の株主優待券*
400株~3,999株	5,000円相当の株主優待券* 3,000円相当のカタログギフト	10,000円相当の株主優待券* 3,000円相当のカタログギフト
4,000株以上	5,000円相当の株主優待券* 5,000円相当のカタログギフト	10,000円相当の株主優待券* 5,000円相当のカタログギフト

※株主優待券は、当社の運営する日本全国のカラオケまねきねこ、ひとりカラオケ専門店ワンカラ、温浴施設でご利用いただけます。



株式会社コシダカホールディングス

〒105-6123 東京都港区浜松町二丁目4-1
 電話 03-6403-5710(代) Fax 03-6403-5727



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。